



海外IT企業との新たな出会いをサポートします



成果報告書

平成31年度 アジア等IT人材交流育成事業

沖縄×海外



人と人との強い絆が沖縄IT産業のグローバル化を加速する。

沖縄×海外

沖縄がアジア有数の国際情報通信ハブ(おきなわSmart Hub)として成長していくため、海外と沖縄を結ぶ人的ネットワークの構築を支援します。

事業目的

県内IT企業のアジア諸国を始めとする海外向けビジネスの展開や、海外IT企業との連携・協業による国内外向けビジネスの創出など、沖縄からアジア等海外との双方向ビジネスの展開を促進するため、沖縄とアジア等海外を結ぶ人的ネットワークの構築を支援する。

事業概要

1. 招へい事業

海外のIT企業経営者等を招へいし、県内IT関連施設の視察や県内IT企業経営者との意見交換等を実施するとともに、IT技術者(ブリッジSE)を招へいし、県内IT企業でOJT研修を行います。

2. 派遣事業

県内IT企業経営者等をアジア等海外へ派遣し、IT関連施設の視察、海外IT企業訪問や関係者との意見交換等を実施するとともに、県内IT技術者を派遣し、技術連携や業務連携を行います。

招へい事業

- 海外IT企業経営者等招へい
- 海外IT企業技術者招へい

派遣事業

- 県内IT企業経営者等派遣
- 県内IT企業技術者派遣

支援内容

招へい事業	
海外IT企業経営者等	旅費・宿泊費
海外IT企業技術者	旅費・宿泊費・滞在費・保険

派遣事業	
県内IT企業経営者等	旅費・宿泊費・保険
県内IT企業技術者	旅費・宿泊費・保険

※視察に要する経費の半額程度は自社負担となります。

海外



沖縄



県内IT企業

- ・県内IT企業でのOJT研修
- ・県内IT関連施設の視察
- ・県内IT関連企業とのビジネスマッチング等

派遣

経営者等5名程度
技術者10名程度



招へい

技術者10名程度
経営者等5名程度

人的ネットワークの構築・双方向ビジネスの展開

招へい事業の流れ



派遣事業の流れ



《中国》

《期間》 令和元年8月26日～8月29日

行程

- ▶1日目: 移動
- ▶2日目: 企業2社訪問、IT関連施設視察
- ▶3日目: 企業1社訪問、情報収集1団体
- ▶4日目: 移動



基本情報

- 【中華人民共和国】
- 面積: 960万km² (日本の約25倍)
 - 人口: 13億9,538万人 (2018年)
 - 首都: 北京市
 - 公用語: 中国語
 - 宗教: 仏教など
 - 在留邦人: 12万76人 (2018年10月)

訪問国 FILE.01



《参加者》
宮城 庄吉 (株式会社スピア 取締役)

視察後の感想

視察した成都市の人口は、約1,600万人でビジネス魅力都市ランキングや中国の住みやすい都市ランキングでも上位となる等、とても魅力的な都市でした。
また、若手の人材が豊富で活気に溢れており、視察した企業は広いオフィスにセキュリティも整備され、日本語でのコミュニケーション能力が高い人材も多く、将来的に発注する際に

も安心して取引することが可能だと感じました。今回、大手通信講座申込書のデータ入力業務及びグループサイトの通信販売申込書のデータ入力業務の受託が決まっています。今後はデータ入力以外にシステム開発や検証サービスでも協業できるよう情報交換や人材交流を通じて、継続的なビジネス展開を目指します。



成都ウィナーソフト受付前にて

《ベトナム》

《期間》 令和元年10月21日～10月25日

行程

- ▶1日目: 移動
- ▶2日目: 企業2社、情報収集1団体、文化施設、市場調査訪問
- ▶3日目: 施設訪問1団体、ハノイ→ホーチミン移動、企業1社訪問
- ▶4日目: 企業3社、IT施設訪問
- ▶5日目: 移動



基本情報

- 【ベトナム社会主義共和国】
- 面積: 33万1,690km² (日本の0.88倍)
 - 人口: 9,621万人 (2019年)
 - 首都: ハノイ
 - 公用語: ベトナム語
 - 宗教: 仏教(約80%)、他(カトリック教、カオダイ教、ホアハオ教など)
 - 在留邦人: 2万2,125人 (2018年10月)

訪問国 FILE.02



《参加者》
芳山 憲茂 (株式会社ワイズライン 代表取締役)
新垣 宗一郎 (株式会社沖縄ソフトウェアセンター 営業部部长)

視察後の感想

視察地のハノイ、ホーチミンは商店街の賑わいや高層ビルの建設ラッシュ、バイクの波、若者の活気など、物凄いエネルギーな印象を受けました。
また、視察先の企業では日本からのオフショア案件を獲得するため、人材育成・組織づくりを積極的に強化しており、さらには日本からベトナムに進出するIT関連企業へ一定期間受託開発を請け負い、完了後にそのプロジェクトメンバーをまるごと移籍提供するという形態もみられました。

さらにITを専攻する大学が相当数あり、毎年数万人単位でエンジニアを社会に輩出する取り組みが国を挙げて行われており、その勢いに圧倒されました。(芳山氏)
ベトナムの技術者の多くはWeb系開発やスマホ系開発の技術者が多く聞いておりましたが、現地で確認すると基幹系業務の開発実績を持つ会社も多く存在することが分かりました。また日本への現地法人を持つ企業もあり、契約取引などもスムーズに行えることや、開発プロジェクト体制では日本語を翻訳するコミュニ

ケータが必要であることも分かりました。今後は開発の受入や事務処理の体制を整備していきたいと思います。(新垣氏)



ONE TECH ASIA 入口前にて

《ウクライナ》

《期間》 令和2年2月19日～2月23日

行程

- ▶1日目: 移動、企業1社商談
- ▶2日目: 企業3社、弁護士事務所訪問
- ▶3日目: 企業1社、スタートアップ関連施設3か所訪問
- ▶4日目: 移動



基本情報

- 【ウクライナ】
- 面積: 60万3,550km² (日本の約1.6倍)
 - 人口: 4,203万人 (2019年)
 - 首都: キエフ
 - 公用語: ウクライナ語
 - 宗教: ウクライナ正教など
 - 在留邦人: 217人 (2017年10月現在)

訪問国 FILE.03



《参加者》
高野 久 (株式会社ルクレ 取締役 経営企画室室長 兼那覇開発センター長)

視察後の感想

噂以上の技術レベルと環境が揃っていました。もともとソビエト連邦時代の宇宙開発等の土壌もあり、現在でも多数の理工学部系の学生が切磋琢磨しております。学問としての学びよりも実務を中心とした経験の裏付けを武器にしている人材が多く、実りある企業見学や商談ができました。
データアナリスト等の物理学や数学科卒の人材も多数活躍しており、ソフトウェアとAIを

融合した最高の技術レベルを日本より安価でのパートナーシップ締結が可能です。今後は弊社のR&Dやソフトウェアの開発案件で共に歩める現地パートナーの更なる拡充と、将来的にはウクライナにおける弊社の開発センターの設立を目指していきます。日本との時差をプラスの要素と捉え、安定的に長時間稼働できるグローバルな開発チームを構築していきます。また日本とウクライナのITにおけるブリッジ的役割も演じていく予定です。



LIFT99のヘリコプター型 Skypeルーム

※基本情報の出典「ジェットHP:各国基本情報(概況)」より

派遣企業 FILE.01



研修先 (Wacontre社) 外観

■派遣国：ベトナム

■技術者派遣期間(日数：10日)
【令和元年12月6日～12月15日】

■技術者派遣人数：1名
・田中 雅貴

行程

- ▶1日目：ホーチミン着
- ▶2日目：取引銀行駐在員のアテンドにより地域調査、意見交換会
- ▶3日目：取引銀行駐在員のアテンドにより山梨出身企業訪問2社
- ▶4日目～8日目：株式会社Wacontreにて技術研修
- ▶9日目：沖縄着

株式会社カルク

■所在地/沖縄県那覇市久茂地 2-3-11 RENATUS KUMOJI.BLDG 401
■業種/総合IT ■Web/https://www.calcinc.co.jp
■会社概要/セキュリティからシステム開発、SIまで幅広くソリューションを提供しています。

「招へい」「派遣」両方の制度をうまく活用し、
現地の環境を整えることができました。

■本事業に参加した目的

今回、技術者の視点にて現地の作業現場や作業の進め方など、日常の業務をどのように遂行しているか確認するため、本事業に参加しました。また、技術者として一緒に作業することでスキルベンチを行い実際の技術レベルの把握を行いたいと考えました。

■感想・成果・今後の計画など

「技術者招へい」にて得られた研修成果を社内でも共有した後に、ベトナム側でのラボ室契約から環境及び設備構築を早急に行う必要があったため、技術者が帰国するタイミングで「技術者派遣」も活用させて頂き、現地にて環境も整えることができました。仕事の仕方は日本というより欧米に近く、単純に日本式の仕事の仕方の押し付けではうまくいかないと感じました。現地の状況を踏まえ業務を行う必要があります。

研修中、現地法人の方と交流する機会があり、業種は違いますがベトナム人の気質など生の情報をいただくこともでき、大変有意義でした。

■今後の展開について教えてください

今回の研修成果を社内でも共有し、体制整備を早急に行い協業できる体制を構築し、実際に業務を行いたいと考えています。また、私以外の技術者にもベトナム技術者の技術力を実際に知ってもらいたいと考えており、機会があれば本事業を再度活用したいと思います。



Wacontre社にて技術研修

派遣企業 FILE.02



台湾の賃貸オフィス

■派遣国：台湾

■技術者派遣期間(日数：3日)
【令和元年9月18日～9月20日】

■技術者派遣人数：2名
・松田 崇
・齋藤 淳一

行程

- ▶1日目：台北着
現地企業訪問、技術者面談
- ▶2日目：現地企業視察2社、賃貸オフィス視察
- ▶3日目：今後の協業体制、オフショア課題についての打ち合わせ
沖縄着

株式会社沖縄ソフトウェアセンター

■所在地/沖縄県うるま市洲崎 14-17 沖縄 IT 津梁パーク中核機能支援施設
■業種/ソフトウェア開発 ■Web/https://www.osc-corp.co.jp
■会社概要/共同開発体制を基礎として、ソフトウェア開発業務を代表受注しています

現地技術者は非常に優秀で、層も厚いことがわかりました。
今後は、台湾企業と協業して開発体制を構築していきます。

■本事業に参加した目的

弊社は、設立当初から日本とアジアの懸け橋となり、日本とアジアのIT人材育成・交流を目指すことを目標の1つに掲げております。おかげさまで、沖縄での開発モデルの確立が順調に進んでいる状況から、今後は次のステップとしてアジアとの懸け橋となるべく、アジアの開発拠点、及び、協業パートナーを見つける為に参加させていただきました。

■感想・成果・今後の計画など

現地の気候は沖縄に近く、時差もほとんどなく、飛行機で約1時間半と、緊急時にすぐに訪問できる、とても条件のよい身近な地域であることがわかりました。また現地の治安も非常によく、昼、夜、問わず安心して滞在できるのも魅力です。さらに現地技術者も非常に優秀な方がおり、技術者の層も厚いことがわかりましたが、日本

語が話せる方は潤沢ではないため、課題としてとらえております。

■今後の展開について教えてください

今後は台湾視察企業の1社と協業し、開発体制を構築する予定です。2020年3月から実際に台湾の技術者を沖縄プロジェクトの一員として迎え、言語の壁を越えた開発の可能性を検討し、6月以降さらにメンバーを増やして海外開発体制を強化していきたいと思っております。



台北市街



シンポジウム



展示会場



レセプション

海外企業経営者招へい

海外IT企業と県内IT企業の新たな出会いをサポートします

1

1日目のスケジュール

- ▶9:00～ オープニングセレモニー
- ▶10:00～ MOU締結式(中国)
- ▶10:45～ シンポジウム
- ▶12:30～ MOU締結式(台湾)
- ▶14:00～ 展示会場視察
- ▶18:00～ 歓迎レセプション参加



ResorTech Okinawa
おきなわ国際IT見本市
Okinawa Startup Festa
2月5日・6日
おきなわ国際IT見本市
見学



招へい国

ベトナム

代表取締役
野原 弘平

Cong Ty TNHH MTV Wacontre

IT国際見本市や沖縄IT津梁パークの視察を通し、沖縄県と民間企業の官民連携の実態について理解を深めることができました。また、アジア諸国の経営者との情報交換やネットワーク作りも出来たため、有意義な時間を過ごせました。



招へい国

ベトナム

代表取締役
Nguyen Lam Thao

OneTech Asia Joint Stock

整ったインフラ環境が素晴らしかったです。オフィス代も安くびっくりしました。また、たくさん企業の方々と交流が出来、良い情報収集ができました。現在1社と協業していますが、さらに沖縄のパートナー企業を増やし、ビジネス展開拡大を期待します。

2

2日目のスケジュール

- ▶10:30～ 沖縄科学技術大学院大学(OIST) ギャラリー・研究棟の見学
- ▶13:30～ 沖縄IT津梁パーク
- ▶15:10～ 首里城



OIST ギャラリー



IT津梁パーク



首里城



招へい国

ベトナム

代表取締役副社長
Nguyen Ngoc Tan

VietIS Corporation

沖縄県IT企業と協業の可能性を探るべく参加しました。沖縄はベトナムに文化が近く、若いITエンジニアが多いと感じました。今回様々な企業と情報交換することが出来たので、弊社にとって良いチャンスになるのではないかと思います。



招へい国

ベトナム

プロジェクト・リーダー
石坂 佳大

株式会社S3ジャパン

沖縄県が真剣に東アジアの経済的、文化的なハブを目指していることがわかりました。今回の訪問を通して、今後に繋がりがそうな出会いにも巡り合えました。今後、また何かしらの形で沖縄にも関わっていただけると思いました。



沖縄IT関連施設
視察訪問

受入企業

FILE.01

株式会社カルク

- 所在地/沖縄県那覇市久茂地 2-3-11 RENATUS KUMOJI.BLDG 401
- 業種/総合IT ■Web/ <https://www.calcinc.co.jp>
- 会社概要/セキュリティからシステム開発、SIまで幅広くソリューションを提供しています。

招へい企業 Cong Ty TNHH MTV Wacontre

- 業種: アプリ開発、オフショアラボ開発とメディア企画
- URL: <https://wacontre.com/ja/>

《招へい国》
ベトナム
(ホーチミン)

代表取締役社長 田中 雅貴

発展目覚ましいベトナムの勢いを実感。それぞれのやり方をすり合わせることで、充分業務が行える手ごたえがありました。

- 技術者招へい期間(研修日数: 57日)
【令和元年10月11日~令和元年12月6日】

■技術者招へい人数: 3名

- ・ Le Minh Hao(レミンハオ)
- ・ Tran Thi Hue Trinh(チャンティフェチン)
- ・ Nguyen Thanh Thai Linh(グエンタンタイリン)



招へい技術者3名

■本事業に参加した目的

弊社は山梨を拠点として事業を行っていますが、採用難のため人材を求めて五年前に沖縄に進出しました。しかし昨今沖縄においても求人難となっています。今後の事業拡大においても採用は非常に重要な要素ですが、国内での採用活動には中小企業に限界があります。

そこで、人員の確保と自社のグローバル化を模索するため海外に目を向け、外国人の採用、現地法人の設立を検討するために当事業に参加いたしました。

■感想・成果・今後の計画など

発展目覚ましいベトナムの勢いを感じました。今回招へいた技術者は皆まじめで向上心にあふれていました。仕事の仕方もそれぞれの国のやり方をすり合わせれば十分業務が行え

る手ごたえを感じることができました。初めて外国人と業務を行うため一歩引いた状態からのスタートではありましたが、課題を克服するために協力し合えば、最終的にはやっていけると担当レベルで実感できたのは大きな成果だと思います。

■今後の展開について教えてください

今後は、今回参加した招へい技術者を中心に引き続きより実践的なスキルベンチなどを行い、早急に海外事業をスタートしたいと考えています。まだまだ、弊社側の体制整備などやるべきことは多々ありますが、3年から5年で現地法人設立を目標とし事業を行っていきたくと考えています。また、機会があればミャンマーやカンボジアなどの国もリサーチしていきたいと考えています。

受入企業

FILE.02

株式会社ハヤト・インフォメーション

- 所在地/沖縄県名護市宇豊原 224番地 3名護市マルチメディア館
- 業種/システム開発 ■Web/ <http://www.hayato.info/>
- 会社概要/RFIDソフトウェア開発

招へい企業 3S InterSoft JSC

- 業種: システム開発 ■URL: <https://3si.vn/jp/>

《招へい国》
ベトナム
(ハノイ)技術開発グループ NFC/RFID 名護開発センター
坂本 雅夫

本事業の利用を重ねるごとに、ベトナムの提携企業とさらに厚みのある連携が可能になってくると思います。

- 技術者招へい期間(研修日数: 61日)
【令和元年10月1日~令和元年11月30日】

■技術者招へい人数: 3名

- ・ Tran Nhat Thanh(チャンニャットタイン)
- ・ Nguyen Thanh Trung(グエンタンチュン)
- ・ Nguyen Van Khanh(グエンヴァンカイン)



オフィスでの研修風景

■本事業に参加した目的

弊社では、ベトナムの開発会社との協業を模索しており、以前よりベトナムの会社へ開発委託を行っていました。今回この制度を利用するのは4回目になりますが、より一層ベトナムの開発会社との連携を深めるために再度利用させていただきました。

■感想・成果・今後の計画など

招へいた技術者とのコミュニケーションは英語だったため当初は不安もありましたが、研修中はジェスチャーやスマートフォンの翻訳機能も活用したので、コミュニケーションに困る事はありませんでした。休日には沖縄スタッフと招へい技術者で沖縄の観光施設に行き、交流を深める事が出来ました。プライベートでもつながりを持つことで

お互いの距離感は縮まったと思います。招へい技術者の方にとっても日本で学んだ技術や文化、生活した経験は、今後の業務に生かされるのではないかと思います。本事業の利用を重ねるごとにベトナム提携会社の沖縄に招へいされた技術者が増え、さらに厚みのある連携が可能になってくると思います。

■今後の展開について教えてください

これまで招へいた技術者の方を核として、ベトナム開発会社との業務を円滑にし、さらに連携を深めていきたいと思っています。また、人件費が安いからという理由だけでなく、優秀な技術者の確保という視点から海外との提携を図り、今後もスキルの高い技術者を提供して頂けるよう、互いに利益が生まれるような関係づくりを向上させていきたいと思っています。

受入企業

FILE.03

株式会社りゅう

- 所在地/沖縄県那覇市字天久 794-3 ラフィーネ天久 II 202号室
- 業種/情報サービス業 ■Web/ <https://www.rue.co.jp/>
- 会社概要/スマートフォンアプリ開発、最先端技術によるアプリケーション開発及び研究

招へい企業 OneTech Asia Joint Stock

- 業種: 情報サービス業(AR/VR/MR事業・Unity AR開発)
- URL: <https://onetech.vn/>

《招へい国》
ベトナム
(ホーチミン)

取締役会長 川上 司

今後は、招へい技術者とともにボーダレスな開発体制構築に取り組んでいきます。

- 技術者招へい期間(研修日数: 60日)
【令和元年9月24日~令和元年11月22日】

■技術者招へい人数: 1名

- ・ Nguyen Dang Thang(グエンダンタン)



第一印象とは違って何でも自ら試行するタンさん

■本事業に参加した目的

弊社は今までベトナムにある協力会社と共に最先端技術によるアプリケーションを複数開発してきました。これらのアプリケーション開発によって培ってきた技術をさらに高めるため、ベトナム人技術者を沖縄に招へいし、モバイルアプリケーションフレームワークを活用した自社サービス等の開発及び技術者の継続的な専門教育を試み、お互いに向上できることを目指していきます。

■感想・成果・今後の計画など

招へい技術者のモバイルアプリケーションフレームワーク等における最新技術を習得するための積極的な態度や学習能力に感銘を受けました。今後のシステム開発においては、招へい技術

者と共に開発できることを確信しています。また、招へい技術者はベトナム語・日本語・英語のできるトライアングルであるため、文化の違いはありますが言語によるコミュニケーションに支障は全くありませんでした。

■今後の展開について教えてください

IT技術者が不足している今日の日本に対して、弊社の対策としてオフショアの高度人材を確保することに視野を広げています。弊社は既にホーチミン市において駐在所を開設しており、ASEANをはじめ海外へ向けてのアプリケーション開発の受け入れを行ってきました。今後は、海外における自社サービス展開など、ボーダレス企業としてポテンシャルを確立するために様々な取り組みを試行して参ります。

受入企業

FILE.04

株式会社スピア

- 所在地/沖縄県中頭郡中城村字南上原 726-1
- 業種/情報処理サービス業 ■Web/ <http://www.spia.co.jp>
- 会社概要/BPOサービス、検証サービス、システム開発

招へい企業 成都ウィナーソフト株式会社

- 業種: 情報処理サービス業 ■URL: <https://www.winnridge.co.jp/>

《招へい国》
中国

取締役 宮城 庄吉

スタッフとのコミュニケーションも問題なく取ることができ、取引でもスムーズな連携ができることを実感しました。

- 技術者招へい期間(研修日数: 6日)
・ 冯静【令和元年9月1日~令和元年9月6日】
・ 張馨予【令和元年12月8日~令和元年12月13日】

■技術者招へい人数: 2名

- ・ 冯静(フーセイ)
- ・ 張馨予(チョウケイヨ)



業務後の食事に技術者と弊社スタッフ

■本事業に参加した目的

弊社は、データ入力をはじめとしたBPO事業、システム開発、検証事業を展開しております。今回、中国企業とのデータ入力での御取引の機会があり、担当者同士の交流や連携の強化、更なる販路の拡大に繋がると思い、本事業へ参加いたしました。

■感想・成果・今後の計画など

今回2名の技術者を招へいし、弊社の個人情報の取り扱いやセキュリティーについての取組、新オペレーターの教育方法、入稿から納品までの業務プロセス、連想入力システムについて説明しました。特に連想入力システムでのデータ入力を見学した際には、入力スピードの速さに驚いていました。業務担当者とのミーティングでは、入力仕様や

データの品質について確認を行いました。コミュニケーションも問題なく取ることができ、今後の取引でスムーズな連携ができることを実感しました。

■今後の展開について教えてください

今回、大手通信講座申込書のデータ入力業務及びグループサイトの通信販売申込書のデータ入力業務を受託することが決まっています。9月にテスト的に少量のデータを処理し、1月、2月の繁忙期に大量のデータを処理する予定となっています。今後は、データ入力以外にシステム開発や検証サービスでも協業できるよう情報交換や人材交流を通じて、継続的なビジネス展開を目指します。

事業を通して、つながりができた国と地域

《総計》企業：128社 団体：19団体 (平成24年度～平成31年度)



アジア等IT人材交流育成事業 実績

《平成31年度 事業実績》

招へい、派遣した 国・地域	県内招へい						海外派遣					
	海外IT経営者		海外IT技術者		計		県内IT経営者		県内IT技術者		計	
	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数	人数	企業数
ベトナム	4名	4社	8名	3社	12名	7社	2名	2社	1名	1社	3名	3社
中国	—	—	2名	1社	2名	1社	1名	1社	—	—	1名	1社
ミャンマー	—	—	1名	1社	1名	1社	—	—	—	—	—	—
カンボジア	—	—	2名	1社	2名	1社	—	—	—	—	—	—
台湾	—	—	—	—	—	—	—	—	2名	1社	2名	1社
ウクライナ	—	—	—	—	—	—	1名	1社	—	—	1名	1社
合計	4名	4社	13名	6社	17名	10社	4名	4社	3名	2社	7名	6社

団体名一覧

- 中国：中国ソフトウェア産業協会(CSIA)／瀋陽国際ソフトパーク(SISP)／成都市ソフトウェア産業協会(CDSIA) MIIT Software and Integrated Circuit Promotion Centre(CSIP)／China Int'l Software & Information Service Center(CSIS)
- ベトナム：Quang Trung Software City Development Company Limited(QTSC)／SME-TAC HANOI／VNITO Alliance VIETNAM SOFTWARE & IT SERVICES ASSOCIATION(VINASA)
- ミャンマー：Myanmar Computer Federation(MCF)
- 台湾：台北市コンピュータ協会(TCA)／台日産業連携推進オフィス(TJPO)／中華民国情報サービス産業協会(CISA)／公益財団法人交流協会
- フィリピン：GAME DEVELOPERS ASSOCIATION OF THE PHILIPPINES(GDAP)／Philippines Software Industry Association(PSIA)
- タイ：Bangkok Japanese Software Association(BJSA)
- シンガポール：SGTech／SIAA

Overseas IT Human Resource Exchange Promotion Project

Objective

In order to Promote interactive business between overseas and Okinawa, support human networks connecting Okinawa and world, including overseas expansion of Okinawan IT companies and creating business directed in and out of Japan through cooperation and partnership with overseas IT companies.

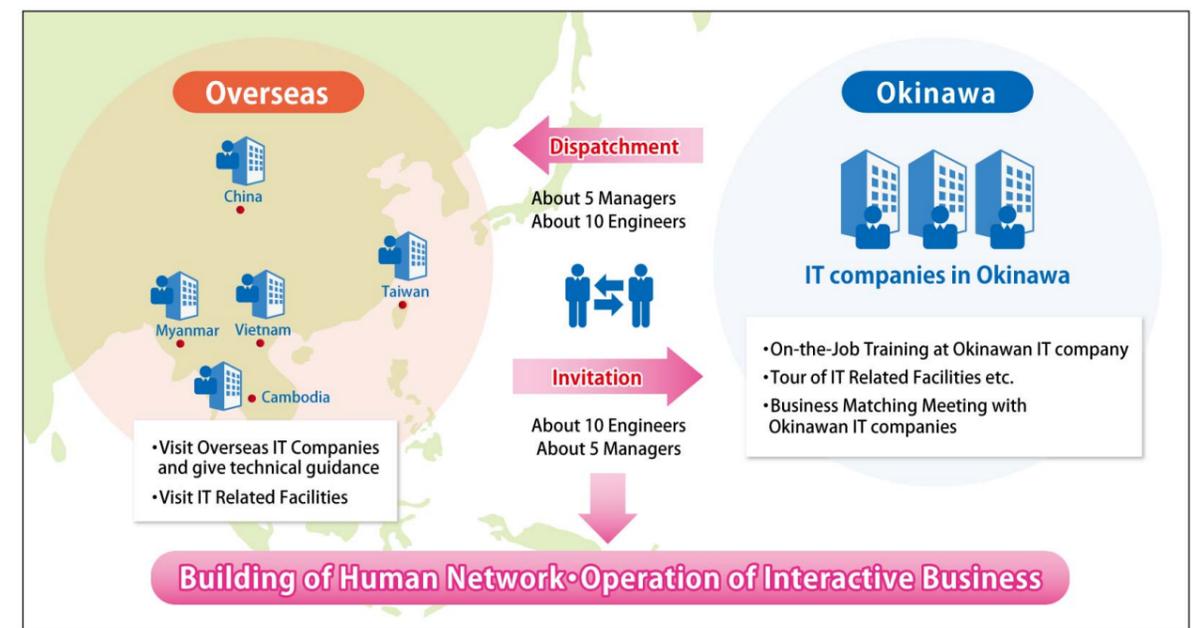
Content

Invitation

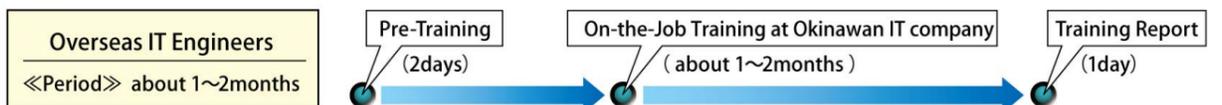
Invite IT Business Managers from overseas to Okinawa, guide IT-related facilities or IT measures in Okinawa and exchange opinions with Okinawan IT Managers.
Also invite IT Engineers (Bridge SE), conduct on-the-Job Training at Okinawan IT companies.

Dispatchment

Dispatch IT Business Managers from Okinawa to overseas, visit IT-related facilities, exchange opinions with the people concerned.
Also dispatch IT engineers, perform technical and business cooperation.



The Flow of Invitation Project



Expense Support for Invitation Project

Overseas IT Managers	Travel and Accommodation Expense
Overseas IT Engineers	Travel, Accommodation, Fixed Amount Stay Expense, Insurance

航空路

令和元年5月現在

釜山	10便/週	所要時間 2:15 (1,008km)
ソウル	56便/週	所要時間 2:20 (1,260km)
大邱	7便/週	所要時間 1:50 (1,079km)
北京	4便/週	所要時間 3:40 (1,852km)
天津	2便/週	所要時間 3:05 (1,729km)
上海	21便/週	所要時間 2:00 (806km)
南京	2便/週	所要時間 2:30 (1,050km)
西安	2便/週	所要時間 3:00 (2,011km)
杭州	4便/週	所要時間 2:35 (837km)
台北	63便/週	所要時間 1:25 (640km)
台中	6便/週	所要時間 1:30 (738km)
高雄	18便/週	所要時間 1:45 (843km)
香港	26便/週	所要時間 2:35 (1,440km)
バンコク	7便/週	所要時間 4:40 (3,130km)
シンガポール	4便/週	所要時間 5:10 (3,760km)
石垣-台北	2便/週	所要時間 0:55 (294km)
石垣-香港	7便/週	所要時間 1:55 (1,071km)



東京	38便/日	所要時間 2:20 (1,687km)
羽田	31便/日	
成田	7便/日	
名古屋	15便/日	所要時間 2:05 (1,483km)
関西	27便/日	所要時間 1:50 (1,261km)
関西	14便/日	
伊丹	6便/日	
神戸	7便/日	
岡山	3便/日	所要時間 1:55 (1,120km)
福岡	20便/日	所要時間 1:30 (1,008km)
鹿児島	2便/日	所要時間 1:15 (758km)

● 沖縄県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館 10階
TEL 03-5212-9087 FAX 03-5212-9086

● 沖縄県大阪事務所

〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2100 大阪駅前第3ビル21階南側
TEL 06-6442-3687 FAX 06-6346-1784

● 沖縄県名古屋情報センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル5階
TEL 052-263-3618 FAX 052-263-3619

● 沖縄県台北事務所

台北市中山区松江路 148号4階E室
TEL +886-2-2521-0376 FAX +886-2-2542-7075

● 沖縄県香港事務所

香港北角英皇道663號泓富産業千禧廣場12樓1211室
TEL +852-2968-1006 FAX +852-2968-1003

● 沖縄県上海事務所

上海市黄浦区漢口路 398号 華盛大厦 1603B室
TEL +86-21-6351-0231/2962 FAX +86-21-6350-7369

● 沖縄県北京事務所

北京市朝陽区東三環北路3号 幸福大厦B座619室
TEL +86-10-6466-8679 FAX +86-10-6466-6693

● 沖縄県ソウル事務所

6F, The Exchange Seoul Building 21, Mugyo-ro, Jung-gu, Seoul, Korea, 04520
TEL +82-2-318-6330 FAX +82-2-753-8751

● 沖縄県シンガポール事務所

1 North Bridge Road #06-22 High Street Centre, Singapore 179094
TEL +65- 6694-6408 FAX +65-6694-5760

発行元

運営事務局

制作・印刷

📍 沖縄県商工労働部情報産業振興課

一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター

シーエスアイ株式会社

